

特別の教科 道徳

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-05-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | https://doi.org/10.24517/00058155 |

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



特別の教科 道徳

1. 伝統文化教育を進めるに当たって

本校では、学校教育目標「自由闊達な気風の中で、広い視野と豊かな人間性を持ち、将来、社会的使命を果たす生徒を育成する。」の基に道徳教育の重点目標を「自分を律しつつ、自分に関わる人の思いに気付き、思いやりの心を持ち、他者との相互理解を図りながら、よりよい人間関係を築いて共に生きていこうとする態度を育てる。」としている。

昨年度から「伝統文化教育を中心とした教科等横断的なカリキュラムの開発ーグローバル社会に生きるために必要な資質・能力の育成を目指してー」という研究主題の基に取り組んでいる。「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」、「我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度」の内容項目を教育課程の中で重点的に位置付けている。各学年で共通する教材で実践研究を行いながら、総合的な学習の時間や学校行事等と関連させ、教科等横断的なカリキュラムの開発を目指して取り組んでいる。それらの学習を通して、日本人としての美徳やよさを生かし、グローバルな視野で活躍するために必要な資質・能力を育み、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てたい。

2. 能力・態度の育成に当たって

(1) 学校全体として育成する資質・能力について

「考え、議論する道徳」を目指して、生徒の姿を教師が的確に捉えられるように今年度は全校共通のワークシートの型を用い、授業ごとに記録を取ることにした。三つの項目において、当てはまるのか当てはまらないのかを四段階で表す欄と書いたことや考えたことをメモする欄を設けた。項目は「今日の授業は考えさせられた」、「教材や友達・先生の話から、自分の考えを深めることができた」、「学んだことをこれから生きていく中で大切にしたいと感じた」とした。これらの欄を設けたことにより、記述が苦手な生徒でもどのように感じたのかがわかるようになった。

また、今年度は授業者も担任のみが行うのではなく、各学年所属の教師も道徳を行う計画を立てた。全クラスの授業を同じ教師がすることによって、一つの教材の準備にかかる時間が十分に取れることやお互いに授業参観することによって生徒の反応も捉えやすくなるなどという成果があった。

伝統文化教育に関わっては二つの内容項目に全学年で取り組むこととした。地域社会に尽くし、生きてきた先人や高齢者などの先達への尊敬と感謝の気持ちを育み、郷土のために自分ができることは何かを考え、郷土の発展のために自分が寄与しようという意識を高めていきたい。また、日本人として我が国への親しみや愛着の情を深め、他国と自国の関わりについて考え、日本人としての自覚をもって新しい文化の創造と社会の発展に貢献し得る能力や態度を養っていくことを目標としている。それらがグローバル社会に生きるために必要な資質・能力の育成にも関わると考えている。

(2) 関連・連携を図った教科等について

道徳教育としては、全体計画と年間指導計画を作成し、学年ごと、教科ごとの関連を図り、生徒指導や教育相談、学校行事等とも連携して取り組んでいる。

一年生は、英語科の授業で日本の食や遊びについて留学生に紹介する活動を行っている。また、技術・家庭科では日本に古くから伝わる食事の作法などについて学んだり、音楽科で民謡について学んだりしている。それらの学習と関連付けて、教科書の題材である「ぼくのふるさと…伝統的な太鼓や歌」「郷土を彫る…伝統工芸品」「古都の雅，菓子の心…京菓子，茶菓子」を行い、国語科の教員による「石川県が都会に対して誇れるところ」に関する授業実践を行った。

これらの題材を通して、日本の伝統と文化を大切にし、地域社会の一員としての自覚をもって、郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めようとする態度を養うことをねらいとした。また、育成したい資質・能力としては「③文化の伝承・創造への主体性」とした。

○ワークシートの振り返りより

- ・金沢が都会に対して誇れるものは…伝統工芸を使った現代の商業，美しい駅，歴史的建造物，人の温かさ，自然，食べ物
- ・この先も金沢の良さを残していくために自分たちにできることは…金沢の良さについてもっと知る，地域の人たちとの関わりを深める，他県の人たちに伝える，SNSで発信する。
- ・その他の感想より…他の人の意見を聞いて，新たな金沢（石川県）の良さを知れた。大人になったら東京に行きたいと思っていたけれど，金沢に住むのも良いかなと思った。

二年生は「心でいただく伝統の味」という題材を用いて授業実践を行った。一年時に技術・家庭科家庭分野の学習で、「和食」について，四季折々・旬の食材を使用することや，四季を表現すること等を学んできた。育成したい資質・能力としては，「③文化の伝承・創造への主体性」とし，「和食」を通して日本の良さを考え，それを次世代に伝えていくためにはどのようなことが必要かを考えることをねらいとした。授業の導入として「和食」の画像を見せ，まず，なぜ作り手が見た目に気を遣っているのかを考え，次に「心でいただく」とはどのようなことなのかを考えた。その後，日本の良さを次世代や，さらに世界に広めるために，まずは自分たちがどうしていけばよいのかということ考えた。

○ワークシートの振り返りより

- ・今回の「心でいただく」という言葉がとても和食にあっているなと思った。また，日本の良さについて改めて考えることで，私達には「当たり前」だったことが，日本の民族の良さになっていることがあると気付いた。
- ・私自身も和食は美しいなと思っていたけれど，それ以上は考えたことがなく，「いただきます」も当たり前のようになっていたので，今回考えてみて，今まで見えなかった和食の良さ，日本の良さ，今後の課題が見えてきて，今後，最後に考えたこと（まずは自分が日本を好きになる，なくさないよう受け継いでいく，他の文化も知っていく）を実践してみたいと思います。
- ・日本文化を知るということは，同時に感謝の大切さを知るとのことだなと思いました。

三年生は，総合的な学習の時間で二年時には「金沢」について学び，三年時には「10年後の金沢」に対して提言を行うという取組を行っている。また，国語科と音楽科の授業では「能・狂言」について連携して学習し，金沢市が行っている観能教室をそれらと関連付けて学んでいる。それらの学習と結び付け，育成したい資質，能力としては，「③文化の継承・創造への主体性」とし，「花火と灯ろう流し」に学年全体で取り組んだ。金沢市でも花火大会や灯ろう流

しが行われており、生徒にとっても身近な題材として考えることができた。そこから「先人の作ってきた伝統を受け継ぐとはどのようなことか」を考えることができた。

○ワークシートの振り返りより

- ・単に伝統を受け継ぐのではなく、どのような伝統・行事なのか、何のために生まれたのかなどを考えて理解した上で伝統を受け継いでいくことが大切なのだとよく分かった。
- ・その伝統本来の形を考え、形式を少しずつ変えながらも、後世に伝えていくことが大切だと気づいた。なんか深かった。いつも考えることのないことについて考えさせられるいい機会だった。
- ・灯ろうは本当に大きな意味を担っているということを知った。この内容とは少しそれてしまうが、自分たちは一つ一つの行事の意味を見失ってしまっていることがあるのではないかと思う。意味はきちんと理解したい。
- ・今回の授業で受け継ぐとはどういうことなのかよく考えた。形式を守ることを重視しすぎるのもよくないと思うし、形式を変化しすぎて本質を見失うのもよくない。受け継ぐというのはいろいろなことがあってとても難しいことだと思った。



実践事例

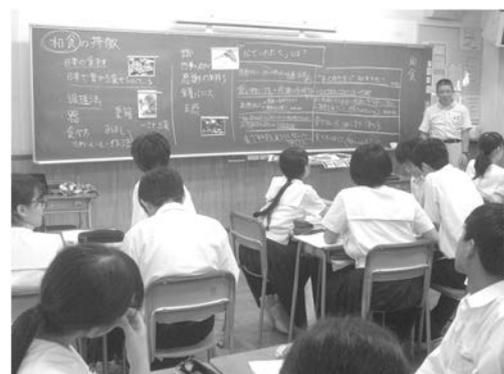
道徳

| | |
|--|--|
| <p>学年</p> <p style="text-align: center;">1 年</p> | <p>関係・連携の考えられる教科等</p> <p style="text-align: center;">国語・社会</p> |
| <p>授業内容</p> <p>大阪が地方都市として独特な存在感を持っている街であることを知り，それをきっかけにして，自分たちの住む街金沢にも首都東京に負けないものがあるかどうかを考える。また，それらを維持・発展させるために自分たちにできることを検討する。</p> | |
| <p>教科等で身に付けたい力（本時について）</p> <p>・郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度</p> <p style="text-align: center;">【C-(16)】</p> | <p>育成したい資質・能力</p> <p>①日本の伝統や文化に関する理解</p> |
| <p>授業のポイント・流れ</p> <p>1 本時の課題を知る。 「負けたらだちゃかん。負けたらだちゃかんぞ東京に。」（金沢ことば）（2分）</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">ふるさと金沢が東京に負けないものは何だろう。</p> <p>2 「道頓堀人情」（天童よしみ）を聴き，「負けたらあかん。負けたらあかんで東京に。」という歌詞が関西人（大阪人）のプライド（意地）を表していることに気づかせる。（5分）</p> <p>3 東京と大阪の文化を比較し，大阪が首都東京に劣らぬ文化を持っていることを理解させる。（15分）</p> <p>・東京タワー⇒通天閣 ・東京スカイツリー⇒あべのハルカス ・東京ドーム⇒京セラドーム ・もんじゃ焼き⇒お好み焼き ・ジャニーズ事務所⇒吉本興業 ・共通語⇒関西弁 ・TDR⇒USJ</p> <p>4 金沢と首都東京の文化を比較し，東京に誇れるものが何かあるかを考えさせる。グループを作り，それを維持していくために必要なこと，また，そのために自分たちにできることを話し合わせる。（18分）</p> <p>・金箔 ・金沢カレー ・おでん ・兼六園 ・かに など 「文化」という言葉にこだわらず，自由に考えさせてみる。</p> <p>5 本時のまとめをする。 金沢が誇れるものとその維持・発展のために自分たちができることを発表する。（10分）</p> | |

実践事例

道徳

| | |
|--|---|
| <p>学年</p> <p style="text-align: center;">2 年</p> | <p>関係・連携の考えられる教科等</p> <p style="text-align: center;">家庭</p> |
| <p>授業内容</p> <p>平成二十五年に、ユネスコ無形文化遺産に登録された日本の伝統的な食文化である「和食」。和食を通して、日本文化の良さに気付き、伝統と文化を継承するとともに新しい文化を創造して、その発展に努めようとする意欲を高める。</p> | |
| <p>教科等で身に付けたい力（本時について）</p> <p>・我が国の伝統と文化の尊重，国を愛する態度 【C-(17)】</p> | <p>育成したい資質・能力</p> <p>③文化の伝承・創造への主体性など</p> |
| <p>授業のポイント・流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. なぜ食べる前に「いただきます」と言うのだろう？(3) <ul style="list-style-type: none"> ・食材に対する感謝。 ・礼儀。 ・決まり，ルール。 ・作ってくれた人に対する感謝。 2. 和食の画像を見て，感じたことを話し合う(5) 3. なぜ作り手は，見た目も大切に飾るのだろう？(10) <ul style="list-style-type: none"> ・食べる人に，見た目でも味わってほしい。 ・（お腹を満たす前に）目も満たすため。 ・おもてなしの心。 ・食べる人への思いやり。 ・おしゃれ。 4. 範読(5) <p style="margin-left: 20px;">（心でいただく伝統の味）</p> 5. 食べ物を「心でいただく」とは，どういうことだろう？(12) <ul style="list-style-type: none"> ・作り手や食材に感謝を忘れないということ。 ・命をいただいているということを忘れないこと。 6. 日本のこのような文化を次の世代や，さらに世界に伝えていくために必要なことは何だろう？(10) <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が日本の良さをしっかりと知ること。 ・そのまま伝えるのではなく，時代の変化に合わせて，よりよいものに変化させていくこと。 ・日本だけでなく，他国の文化の良さや歴史を知ること。 7. 感想・振り返り(5) | |



実践事例

道徳

| | |
|---|---|
| <p>学年</p> <p style="text-align: center;">3 年</p> | <p>関係・連携の考えられる教科等</p> <p style="text-align: center;">社会</p> |
| <p>授業内容</p> <p>花火と灯ろう流しについての作者の思いを通して，日本の年中行事について理解を深め，先人たちの想いと現代の社会状況の変化への対応の間で，揺れ動く文化の在り方を考え，伝統の継承と文化の創造に努めようとする心情を育てる。</p> | |
| <p>教科等で身に付けたい力（本時について）</p> <p>・我が国の伝統と文化の尊重，国を愛する態度 【C-(17)】</p> | <p>育成したい資質・能力</p> <p>③文化の伝承・創造への主体性など</p> |
| <p>授業のポイント・流れ</p> <p>導入</p> <p>1. 資料の前提となる知識を得る。（5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の年中行事と聞いて思い浮かぶものを挙げる。 ・自分の家庭のお盆はどのようなものか問う （金沢の切子の文化の特殊性，多様性にも触れる） <p>生徒の灯ろう流しの経験や，金沢での墓参りでの風習を知っている生徒に説明してもらおう。</p> <p>展開</p> <p>2. 資料を読む（5）</p> <p>3. 資料について考える。（5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「灯ろうを流すという儀式に参加することで人々は悲しみや苦しみの気持ちを新たにしてきた」とはどういうことなのか問う。 <p>4. 地域にあてはめて考える。（10）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢の灯ろう流しについて，観光客を呼び寄せている良さと観光化してもととの行事の良さが損なわれているという意見を提示して，元の形へ戻すべきという意見と，より現代風にして若者を呼び寄せるべきという意見のどちらに賛成するか問う。 →立場とその理由をワークシートに記入させて，グループで話し合う。 <p>5. 考えを出し合い学びあう（20）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">中心発問：先人の築いてきた伝統文化を受け継ぐとはどういうことなのだろう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な考え方で「伝統文化の継承」を考えさせるためにグループで意見を交流させる。 <p>6. 振り返り（5）</p> | |